

Tokyo働き方改革宣言



東京都知事 小池百合子 書

・従業員一人ひとりが自身の能力を充分発揮でき、健康で
生き生きと働ける職場環境づくりに向け、働き方・休み方改
革を推進します。

平成30年3月23日

マネックスグループ株式会社

目 標

働き方の改善

- ・会社全体で時間を意識し、効率的な業務推進に努めます。
- ・特定の人に業務が集中しないよう複数人による業務推進体制を整え、一人に対する業務負担削減を目指します。

休み方の改善

- ・2017年の年次有給休暇取得率の目標を60%とし、段階的にこれを引き上げ、2020年までに70%を目指します。
- ・休暇を取得し易い職場雰囲気作りに努めます。

取 組 内 容

働き方の改善

- ・毎日の退社時刻を各自で設定し、その設定時間に向かって計画的に業務を進めます。また周りの上司・同僚も設定時間に退社できるよう協力します。
- ・時間内に効率よく成果を出しているかどうかを評価制度の評価項目に加え、時間に対する意識を高めます。

休み方の改善

- ・月1回の休暇取得や飛び石連休時に休暇を取得するような有給取得を奨励します。
- ・休暇取得状況を定期的に提供し、取得率を各部門で共有します。
- ・管理職が進んで休暇を取得する、管理職による声掛けを行うなど、休みやすい雰囲気を作ります。